

第2回尾張旭市総合計画審議会（第2部会） 会議録

1 開催日時

令和5年8月1日（火） 午前9時30分から正午まで

2 開催場所

尾張旭市役所南庁舎2階203会議室

3 出席委員

朝見 政広、荒谷 弘美、伊藤 雅一、鈴木 厚子 4名

4 欠席委員

杉本 祐也 1名

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員等

企画課長 谷口 洋祐、政策企画係長 田中 広樹、  
総合調整係主査 奥村 香絵、政策企画係主査 北川 歩、  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)名古屋（MURC） 佐々木 雅一

7 議題等

- (1) 基本目標4及びその施策に関する調査審議
  - (2) 基本目標6及びその施策に関する調査審議
  - (3) 「めざすまちの未来像」「まちづくりの基本方針」に関する調査審議
- 会議の要旨

企画課長	<p>本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から、尾張旭市総合計画審議会第2部会の第2回目の部会を開催させていただきます。</p> <p>開催に先立ちまして、本日は、先回の策定会議の折にもお話ししましたが、杉本委員から欠席のお話をいただいています。また、企画部長が他の公務により、欠席とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>そして、本日の出席者ですが、企画課の職員他に、本市の総合計画の策定を支援していただいている三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング株式会社名古屋の佐々木様にも同席いただいておりますので、御紹介させていただきます。</p> <p>それでは、伊藤部会長、進行をよろしくお願いいたします。</p>
------	--

伊藤部会長	<p>皆様おはようございます。本日は御多忙の中、第2回部会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>前回の部会では、委員各位から数多くの御意見をいただき、有意義な議論ができたと思っております。</p> <p>それでは、早速ですが、本日の会議につきましては、御手元に配布しております次第に従って進めさせていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>議事に入ります前に、先ほど企画からも話がありましたが、前回と今回の部会について、杉本委員が欠席しています。事務局が杉本委員の意見を聞いてきていますので、順次聞いていきたいと思っております。本日議事事項となっている基本目標4と基本目標6等については、議事進行の中で聞いていこうと思っておりますので、まずは、前回の部会で調査審議した基本目標3について、杉本議員から聞いてきた事項を事務局から発表してください。</p>
企画課	<p>企画課の田中です。よろしく申し上げます。</p> <p>杉本委員には前回部会で調査審議した内容を共有するとともに、各施策や基本目標について説明した後に御意見を伺いました。</p> <p>まず、部会資料3の18、19ページを御覧ください。「主体的に学ぶ教育の推進」です。こちらには、「学校関係者以外が施設を利用する状況を開示することでその他の積極的な利用につながる」という意見をいただきました。</p> <p>次に、20、21ページを御覧ください。「総合的な教育連携・協働の推進」です。こちらには、御自身の経験から「駅前再開発に関する学生コンペがあった。学生として、提案が現実になることが嬉しく、提案の過程でその「まち」を知ることに繋がった」という意見をいただきました。</p> <p>次に、22、23ページを御覧ください。「生涯学び続ける教育の推進」です。こちらには、「公民館の講座などで知識を得た方が、教える側になるのが良い。これらの機会を積極的に周知することにより、興味のある方が参加してくれるのではないか」「図書館は過去によく利用した。周りに人がいることで緊張感につながっていた」という意見をいただきました。</p> <p>次に、24、25ページを御覧ください。「文化・スポーツの振興」です。こちらには、「有名な選手による教室などがあると、子どもたちに夢を与えるとともに、尾張旭市のPRにもつながる」という意見をいただきました。</p> <p>企画課といたしましては、いただきました御意見を担当課とも共有し、本計画策定や事業実施の参考とさせていただきますようお願いしております。</p>

	<p>なお、杉本委員からは、「部会に出席できておらず申し訳ございません。」と皆様伝えてほしいと伺っておりますので、申し伝えさせていただきます。</p>
伊藤部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>杉本議員の意見については、部会の取りまとめの中で調整していけば良いかと思えます。大きくは3点、「学校施設の地域開放の実施」「公民館講座の実施」それから「中日ドラゴンズの高橋選手のような有名な選手によるスポーツ教室を通じたPR事業」という御意見ですね。</p> <p>それでは、次第の2、議事に入ります。</p> <p>前回、第1回の本部会では、基本目標3「教育・生涯学習」の分野について、調査審議を行ってきました。</p> <p>本日は、基本目標4の「都市基盤」と基本目標6の「環境」の分野の調査審議を行ったのち、6月に開催しました2回目の全体会で調査審議しました基本構想内の「めざすまちの未来像」「まちづくりの基本方針」について、改めてこの部会でも調査審議していきたいと思えます。</p> <p>杉本委員からの御意見については、各施策等で委員の皆さんから御意見をいただく際に事務局から発表してもらいます。</p> <p>前回と同様、基本目標4について、事務局から主要な部分の説明を受け、その後、皆様からお気付きの点など御意見をいただく形で審議を進めていきます。まずは、事務局から説明をお願いします。</p>
政策企画係長	<p>(部会資料3 施策別指針(素案)26ページから33ページまで、資料8 基本構想(素案)5ページ下段に基づき、基本目標4及びその施策について説明)</p>
伊藤部会長	<p>それでは、ただ今説明のあった部分について、施策ごとにお気付きの点や御質問、御意見、御提案や賛同する点など御発言をいただき、その後、基本目標についても同様に御意見等をお伺いしていきたいと思えます。</p> <p>まず初めに、部会資料3の26、27ページの施策4-1について、調査審議いたします。まず、杉本委員からの御意見を事務局から説明願います。</p>
政策企画係長	<p>施策4-1に関する御意見として「空き家について、その利用方法について特徴的なものがあると、市を訪れる機会となる」「公園を再整備する際など、学生が意見を出せる機会があると良い」「水辺の利活用は建築系の学生には</p>

	<p>魅力的である。魅力をSNSで発信できると良いと思う」との意見をいただいております。</p> <p>企画課といたしましては、空き家など「課題」と考えているものも、見方を変えると来訪者を増やす起爆剤になるという考え方が新鮮で、事業実施に当たっては、組織横断的な企画を検討する必要性を考えているところです。</p>
伊藤部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは各委員から御発言をお願いしたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>「めざす姿」が「豊かな自然に恵まれ、生活利便性の高い住環境、やすらぎのある都市空間が形成されています。」とあります。まちづくりの基本方針の文章の中には、利便性だけでなく、今までにない楽しさを感じられるもの、刺激性のあるものを今回は入れていくことが特徴だと感じています。尾張旭は快適で便利ですが、それだけでは魅力を感じてもらえていないので、楽しい部分を加えていくということかと思えます。</p> <p>「めざす姿」の部分は、従来路線で「楽しさ」を目指していくことが入っていないため、「めざす姿」に、何か加えて変わっていくような、「楽しさ」等のニュアンスが含まれていくと良いのではないかと思います。</p>
企画課長	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>個別の施策分野に関しては、「楽しさ」というキーワードが「めざす姿」に入っておりませんが、この施策4-1については、これから10年で大きく変わる三郷駅を始めとした主要なプロジェクトなども含まれております。まちの基盤整備の中で、「楽しさ」というキーワードは大切な要素ですので、検討させていただきます。</p>
鈴木委員	<p>「楽しさ」「魅力的」など、何か一つでも今までにないものを加えることが今回の計画のキーワードだと思うので、入れてほしいと思います。</p>
伊藤部会長	<p>「現状と課題」の3つ目に「都市のコンパクト化を進める必要があります。」とあり、その目的は持続可能なまちづくりを実現するということで、都市の維持管理経費をいかに減らすかという観点だと思いますが、それに対応する主な取組の2つ目「活力ある中心拠点の再構築」ということで、中心性の向上はコンパクトシティには必要ですが、より重要なのが都市機能を拡散させないという点だと思います。もう1点が、公共交通の充実を含めた移動の円滑化という部分が合わさってくるかと思います。中心性の向上</p>

	<p>だけで、都市のコンパクト化は実現できないと思うので、記述の充実を可能であれば対応していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
企画課長	<p>都市のコンパクト化というのが中心拠点の再構築化だけでなく、いわゆる都市計画そのものや公共交通にも密接な関係があるということかと思えます。</p> <p>「現状と課題」で捉えているものが大きいのに対し、「主な取組」の内容はコンパクトすぎるため、「現状と課題」の表現を、もう少し具体化することや「活力ある中心拠点の再構築」ということにつながる表現が、加えられると良いのではないかと思いつながりながら、話を伺っておりました。</p> <p>公共交通の関係ですと、次ページの施策4-2にも関わってくる部分でございます。</p> <p>そうした中では、もう少し具体的な表現が必要と考えております。</p>
伊藤部会長	<p>コンパクトシティというのは、概念的に大きいため、この「現状と課題」は、「都市のコンパクト化を進めるために、中心性を構築させる必要がある。」にするとか、もう少し適した表現にする方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>当然、公共交通の部分についてもコンパクトシティに寄与するもので、おそらく都市計画マスタープラン等には書いてあると思いますが、コンパクトシティはキーワードになると思うので、もう少し色々な分野で受け込ませることができると良いのではないかと思いました。</p>
企画課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>「現状と課題」について、もう少し焦点を絞った表現とすることを検討します。</p>
政策企画係長	<p>「関連する個別計画」の上から2つ目「尾張旭市立地適正化計画」が、まさに部会長がおっしゃられたコンパクト化や拡散をさせないなどが記載された計画となっておりますので、この辺りの個別計画との関連性も考えながら、言葉を修正させていただきます。</p>
伊藤部会長	<p>「立地適正化計画」は2042年度までと結構長いスパンなので、「主な取組」の部分で「立地適正化計画に基づいて」などと書くと、色々なニュアンスが出せると思いますけれども。</p>
政策企画係長	<p>その辺りの上位計画と下位計画のバランスをとりたいと思います。</p>

朝見委員	<p>主な取組の3つ目「公園などのうるおいある空間づくりと活用」とありますが、最近とても暑い中、公園に日陰が少ないと感じています。子どもを公園に連れて行ったり、子どもだけで公園に行ったりというのをためらってしまいます。遊具から遠い場所に日陰があったり、水辺を作ったり、樹木を植えたりするより、遊具の近くに屋根のある座れるところがあると良いと思います。</p> <p>城山公園はとても良いので、市外から友人が来たときに連れていくのですが、日陰が少なく、みんなテントを持ってきている状況です。</p> <p>また、「中心拠点の再構築」というところで、駅前の再開発などがあると思います。最近では再開発で駅前に遊具を設置しているところも県外には見られます。もともと公園都市としてのブランド、一人当たりの公園面積がかなり多いまちというのはアピールできるため、その延長線上で、取り入れても良いかと思います。</p>
企画課長	<p>いわゆる市街地の小ぶりの公園「街区公園」というのは、おっしゃる通り、屋根のある「東屋」のようなものが少ないと思います。今後、北原山の区画整理事業で街区公園の整備を進めますが、この第六次総合計画の計画期間中にありますので、担当課にも気候変動や時代に対応したニーズを伝えていきたいと思います。</p> <p>また、城山公園の「スカイパーク」はかなり市民のお声を取り入れて整備していますが、確かに東屋のような場所は少ないように思います。既存のものがあるのでという考え方なのかもしれませんが。</p>
朝見委員	<p>1カ所しかないので、利用者の奪い合いになっています。</p>
企画課長	<p>三郷駅の公共的な空間の中に、どのような要素を入れていくか、今後、市が地権者の一人として整備に携わっていく中で、御指摘の内容も伝えていけたらと思います。</p>
朝見委員	<p>天理駅に行った際、駅前に「古墳パーク」というものがあった、子どもたちが遊んでいました。尾張旭であれば、「いちじくパーク」「紅茶パーク」が考えられるかもしれないですね。</p>
鈴木委員	<p>公園遊具が三郷地区には少なすぎるため、遊具を設置してもらい、それでもまだ少ないということで設置に向けた活動をしていたことがあったのですが、例えば旭前で新しい公園が整備されたし、北原山で公園が整備されていて、</p>

	<p>それはある程度市民の声を取り入れて魅力のある公園が出来ていくのだと思いますが、古くからのすでに完成している公園に、遊具が少ない、もっと魅力のある公園にしたいと思った時に、訴える場所がありません。自分達の思いを訴えることが出来る仕組み作りをしてはどうでしょうか。</p> <p>古い公園は木が育っていて緑がある、木陰があるという印象だが、旭前の公園に関しては、防犯上の問題なのか「樹木を植えていない」というコンセプトで整備されているように思います。</p> <p>公園が緑のある場所という概念から外れつつある中で、新しい公園を作るのであれば、公園の一角や公園以外の場所で必ず緑地を作るなどしたほうが良いのではないのでしょうか。北原山の新しい公園群に関しては、あまりにも緑が少ないので、ここを緑地と呼んでいいのかなと感じています。</p> <p>魅力のあるものを作っていくと書いてありますので、そのような仕組みを作っていただけると良いと思います。</p>
企画課長	<p>2つの点で御指摘いただいたかと思います。</p> <p>まず1つ目の古い公園のリニューアルをするタイミングはあるのかという点において、数多くある街区公園の中で、どの優先順位でリニューアルしていくのかという部分は、一度担当課に確認してみたいと思います。</p> <p>特に三郷地区ですと、土地区画整理事業を比較的早い時期に実施しておりますので、遊具については古いものが多いのかなという印象でございます。</p> <p>また2つ目の公園に樹木をどの程度植えるのかという点については、御指摘のとおり、最近の新しい公園においては、防犯上の問題から出来るだけ見通しを良くしてほしいとの地域の方々の御要望が多いのではないかと思います。印場以降の区画整理でできた公園は視界を遮るものが少ない傾向にあると感じます。先ほどの「東屋」を建てるのが良いのか、やはり木を植えることが良いのか、その辺りについては、現在の方向性や考え方などを担当課に確認してみたいと思います。</p>
荒谷委員	<p>地域の公園においては、季節により草が生い茂りすぎて、どうにもならないところもあります。そうした場所は、浮浪者が居座ったり、死者が出たりも聞いています。景観もそうですし、清掃活動や防犯面も含めて考えていく必要があると思います。</p>

	<p>また、防犯カメラなどを積極的に斡旋してもらえるとありがたいです。</p>
企画課長	<p>地域の街区公園ですと、公園愛護会という地域の団体に維持管理をお願いしたり、市民参加で管理していたりしておりますので、なるべく様々な管理に手が掛からないような形で進めていく必要もございますし、防犯面についても、防犯カメラの設置が許容される世の中になってきたと思いますので、ただいまの御指摘につきましても、担当課に伝えていきたいと思います。</p>
朝見委員	<p>自転車で出かけることが良くありますが、瀬戸市と長久手市はわざわざ行く公園はあまりなく、城山のスカイパークや小幡緑地にはよく行くので、子どもがまた行きたいとなる公園を作っていただきたいと思います。</p>
企画課長	<p>森林公園は行かれないですか。</p>
朝見委員	<p>森林公園は遊具が古いですし、園児を連れていくには、広くて目が行き届かない。城山公園は柵で覆われているため、安心して遊ばせることができます。</p>
鈴木委員	<p>自身の子育て時代に本当に悩んでいたのが、歩いて行ける距離に公園がなかったことです。名古屋市に住んでいた時は、遊具のない公園もありましたが、1つの学区に1つ楽しい公園があったように思います。</p> <p>保育園の先生も歩いて行ける範囲には遊具のない公園しかなく、他の公園にも連れていけないと言っていたため、子ども達が歩いて行ける範囲で、1校区に楽しい公園を1つは作っていただきたいと思います。</p>
企画課長	<p>公園に対する期待というのはすごくあるのだなと思いますし、「子育てしやすいまち」を基本方針に掲げておりますので、その部分でやはり重要な取組であると、委員の皆様様の御意見を伺って実感しております。</p>
鈴木委員	<p>「魅力のある公園」はどんな感じですか、ということを市民の意見も聞いて、計画をしてほしいです。</p>
伊藤部会長	<p>企画課長が言われましたとおり、子育て支援や子育て環境にとっても重要な要素かと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次に資料28、29ページの施策4-2について審議いたします。まず、杉本委員からの意見を事務局から御説明願います。</p>
政策企画係長	<p>施策4-2に関する御意見として「キックボード、シェアサイクル等を活用すると良い。」との意見をいただいて</p>

	<p>おります。</p> <p>企画課としましては、尾張旭市の状況をしっかりと見た上で、事業を実施する際の参考とさせていただきたいと考えております。</p>
伊藤部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、各委員から御発言をお願いしたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>「主な取組」の3つ目「誰もが安全に外出できる環境を整備するため、幹線道路や生活道路の整備や維持管理、交通対策に取り組みます。」とありますが、もう少し、歩道を綺麗にさせていただく事を期待しても良いのでしょうか。</p> <p>高齢者の三輪自転車やベビーカーで通ると歩道が段差やでこぼこがあり危ないなと感じ、非常に気になっています。車道から一段高くなった歩道もあれば、車道とフラットになっている歩道もあります。この段差などは歳を取って生活していくことを考えると心配です。</p> <p>なので、生活道路の整備というところに歩道についても触れていただくと、高齢者も安心できると思います。</p>
政策企画係長	<p>歩道については、主に2種類あり、「歩車道境界ブロック」の高さに合わせた歩道と、車道の高さとフラットになっている歩道がございます。尾張旭市においては、それが混在している状況です。一段高く設置した歩道に関しては、車が出入りをする場所や歩道をスロープ形状にしてあり、おそらくそれが段差やでこぼこがあると感じられる原因ではないかと思えます。現状として、区画整理事業単位で歩道を設置しておりますので、統一がされておられません。ただ、一段高い歩道については、大雨による浸水があった場合の住宅側への水の侵入を防ぐことができる、車の歩道への侵入を防ぐことができるという利点もございますので、御理解いただければと思います。</p> <p>委員の御指摘のように、この状況を改善するには、すべての歩道をフラットな状況にすることだと思いますが、すでに住宅が建っている状況でございますので、なかなか難しいと考えられます。アスファルトの継ぎ目による段差をなるべく少なくするよう工夫することで、環境を良くすることはできると思いますので、御意見として担当課には伝えさせていただきます。</p> <p>また、樹木による「根上がり」が発生しているため、歩道がでこぼこしている場合もございます。こちらについて</p>

	<p>は、予算が必要となるため、即時の対応は難しい場合もございますが、気になる箇所があれば、担当課へ御連絡いただきたく思います。</p>
鈴木委員	<p>歩道のバリアフリーや自転車道の整備が進んでいけば、解決することなのかもしれないですね。</p>
政策企画係長	<p>自転車道の整備については、市役所の横にありますアスカに接する道路において、自転車道を設置し、試験的に活用を進めております。名古屋市等においては、自転車道を目にすることもあるかと思えます。整備には道路の幅がプラスで必要になってくることもございますので、その辺りを踏まえ、自転車道の整備計画をこれから作っていくことになるかと思えますので、参考として担当課に伝えさせていただきます。</p>
荒谷委員	<p>市民の皆さんに、あさびーバスの積極的な利用方法について、市がもっと打ち出していただいたら良いのではないのでしょうか。例えば、庄中町の方が東栄町の方に行こうとすると乗り換えが必要で時間もかかります。</p> <p>オンデマンド交通などはとても良いと思うし、もう少し積極的に全面に出していけると良いと思います。</p>
政策企画係長	<p>あさびーバスのルートに関しては、様々な御意見をいただいております。担当課においても、検討をしながら運行計画を考えているところだと思いますので、今一度担当課に御意見は伝えさせていただきます。</p> <p>オンデマンド交通については、まだこれからという部分もあり、民間の力も借りて進めていくことになるのかなと思えます。今後の検討段階においては、いただいた御意見について担当課に伝えさせていただきます。</p>
伊藤部会長	<p>それでは、次に資料30、31ページの施策4-3について審議いたします。まず、杉本委員からの意見を事務局から説明願います。</p>
政策企画係長	<p>施策4-3に関する御意見として「市民農園について、最近では、農業に携わりたくて移住する人が多いと聞くため、農園を借りられることが移住のきっかけになる可能性がある。農業に携わりたい人のスタートアップとして良い事業である」との意見をいただいております。</p> <p>企画課といたしましては、定住と市民農園のつながりを発見することができましたので、定住支援策を展開する際などには横断的な考え方として参考とさせていただきたいと考えております。</p>

伊藤部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、各委員から御発言をお願いしたいと思います。</p>
朝見委員	<p>主な取組の2つ目に「矢田川の自転車道の計画的整備」について、自身も子どもと良く利用していて応援したいと思っておりますが、計画的整備とは瀬戸方面には伸びていないからということでしょうか。</p>
政策企画係長	<p>自転車道の整備につきましては、瀬戸方面への整備でなく、今の自転車道の幅がかなり狭い状況です。2メートル幅程度のものを4メートル幅に変更していくものでございます。</p> <p>それとあわせて、瀬戸方面への延伸も検討しているところです。</p>
朝見委員	<p>日頃から芝生等を利用する人も多いと思うが、自動車を停める場所がなく、路上駐車のような形で車を停めている人が多い。その状況で「魅力的な河川にする」というのであれば、駐車場の整備も検討してほしいと思います。</p>
政策企画係長	<p>矢田川近隣の方だけでなく、広く利用促進するためには、矢田川までたどり着く交通手段を確保するという意味で駐車場を整備した方が良いという御意見かと思っておりますので、担当課に伝えさせていただきます。</p>
鈴木委員	<p>「めざす姿」が「緑、河川、農地、ため池を保全し、憩いの空間が整っています。」となっておりますが、保全ということは、十分に整っているからこれ以上増やすことは考えていないのかなと思いました。指標に緑地面積の目標値が設定してあるので、少しは増やしていくつもりがあるのかなと。</p> <p>「めざす姿」のところに、もう少し「豊かな緑を作っていく」との増えていくイメージを含めても良いのかなと感じます。</p> <p>保全というと、今あるものを守っていくという印象がありますが、市街地に住んでいるものからすると、木陰が少ないという印象があって、街路樹についても痛んでいるものは全部切ってしまったため、木陰がなくなりました。街路樹ももっと整えても良いのではないかと感じています。</p> <p>三郷駅開発をしていくに当たり、市街地ではあるが、緑や木陰のある空間、うるおいのある空間を増やしていきたいなと思っております。田んぼや河川など元々緑があ</p>

	<p>る地域だけでなく、市街地にも緑を増やしていくということが「めざす姿」に加えていただくといいなと思いました。</p>
企画課長	<p>いわゆる緑地帯や農地帯といった面的に広いエリアで緑が感じられるという部分について、施策4-3「身近な緑・農地・水辺環境の保全」で取り扱っているところがございます。</p> <p>緑地面積は、区画整理事業で緑地帯を増やしていくのが「主な取組」で、それ以外で緑の面積自体を増やしていくのはなかなか難しく、開発を進めていくと、現在農地の部分が工業地へと変わっていくと緑地面積は減っていくというのが現状です。</p> <p>稲葉地区で、工場がエリアを拡張して農地が工業系の用地に変更していくという変化がある中で、農地は、大雨が降った際の貯水の役割もありますので、全体として農地が減りすぎないように土地利用規制を行いながら、一方では緑地を増やしていく取組を実施してまいります。</p> <p>市街地におけるうるおい、緑、水辺環境の整備につきましては、施策4-1「公園などによるうるおいのある空間づくり」という部分で、三郷駅を含めこちらでしっかり取り組んでいくと考えており、2つの施策を連動させながら、市内が緑豊かな街並みとして今後も親しみをもってもらえるよう進めていく必要があると考えております。</p>
鈴木委員	<p>北原山で整備されている公園を見ても、たとえ緑がなくとも「公園緑地」としてカウントされていくことに対して緑のある空間と言えるのかなと疑問に感じます。旭前のように防犯のために緑のない空間を作るのであれば、そことは別に、緑のある空間を作っていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>そうでないと、住宅地すぎるというか、緑のないコンクリートのまちが出来てしまうのではないかと感じています。</p>
企画課長	<p>「緑の基本計画」という個別計画や、土地利用規制の全体を定める計画である「都市計画マスタープラン」と関連させながら、どのように緑を維持していくか、増やしていくかということを計画的に進めていきたいと思っております。</p>
荒谷委員	<p>「主な取組」の3つ目「都市型農業の推進」について、農業従事者、後継者不足が最大の課題となっていると思ひ</p>

	<p>ますが、もっと若い人達に魅力ある農業を知ってもらうためにどうしたらよいか、もう少し踏み込んでいってもらいたいと感じていますが、いかがですか。</p>
企画課長	<p>都市型農業という言葉が難しく、後継者の育成がなかなか進まないという課題があり、どのような部分を市が主導していけるかという中では、J Aと連携することや、市民農園等の市民レベルでの施策を実施したり、地域の特産品を通じた様々な新しい形の農業の振興であったり、このようなことが都市型農業の推進だと思います。</p> <p>委員の御指摘のとおり、若い方が農業から非常に縁遠くなっているように思っています。どうやって魅力を知っていただくかがキーワードの一つであると思います。</p> <p>農業支援をしている施設として、かつては「宮浦会館」という施設がございました。現在は「公民館」の用途になっています。</p>
政策企画係長	<p>30代、40代で農業をやっている方はいないと思います。先日担当課から、新しくいちじく農園を始めた若い方がいると聞きました。まさに農業に携わりたいという若い方が農業を始めやすい財政的支援や県からの助成などがあると聞いております。</p> <p>その辺りの総合計画への記載については、一度検討させていただく必要がありますが、農業に魅力を感じってもらうため、市としてどのような発信できるのか、どのようにして農家やJ Aと一緒に実施できるのかを担当課と検討していきたいと思います。</p>
伊藤部会長	<p>施策4-3はアメニティの形成、快適空間の形成ですよ。都市型農業というのは、農業施策として通常は産業振興の分野として扱われるため、施策7の分野だと思いますが、都市環境に位置付けた理由は何かありますか。</p>
政策企画係長	<p>こちらにつきましては、今年の組織変更の際に検討がなされた部分でして、農業が産業振興ではないということではなく、尾張旭市においては、農業が緑や景観という位置付けとする部分が多いのではないかと考え、現在の位置付けで分類しております。</p>
企画課長	<p>第五次総合計画の中では、産業振興の分野の1つの施策レベルで農業の振興を取り扱っておりましたが、先ほどの事情もございまして、行政組織でも市民生活部門から都市整備部門の公園農政課として、今年の4月より変更となっております。</p>

伊藤部会長	<p>庁内の組織として、この位置付けの方が推進しやすいということですね。分かりました。</p>
鈴木委員	<p>市民の取組で「身の回りのものを木製品に変え、木を暮らしの中に積極的に取り入れます。」とありますが、市民のみ、なぜ努力しなければならないのかと感ずるところがあり、例えば、主な取組の4つ目「全国植樹祭の理念継承」の部分に、「市の公共施設で木製品を取り入れます」という記載があっても良いのではないかと思います。</p> <p>それと、農業が景観などに含まれるとの説明がありましたが、田んぼアートはまさに景観として見ることができる部分かなと思います。ひまわりやコスモスもありますし、尾張旭の田んぼや畑の美しさやそれを活用したイベントを積極的に発信するのは、農業の取組に入れても良いのではないかと思います。</p>
企画課長	<p>木の製品の取り入れについてですが、全国植樹祭の理念継承として、市の子育て支援施設で木の製品を取り入れるなど積極的に活用しております。</p> <p>その他様々な取組を実施しておりますので、この全国植樹祭の理念継承の部分に、あまり具体的な取組内容を個々に書き込めていない状況であると御理解いただきたく思います。</p> <p>田んぼアートや農地の景観形成やイベントについては、都市型農業の形成だけでなく、まちのにぎわいにも関わってくる部分がありますので、全体の中で書き込みを調整したいと思います。</p>
伊藤部会長	<p>全国植樹祭に関しては、様々な取組を実施されていると思いますが、「現状の課題」は「全国植樹祭の開催理念を継承する必要がある」そして主な取組は「理念を継承することを目的とした取組を進める」となっており、記述レベルがあまり変わらないため、例示としていくつか出してもらえると、市民にどういった取組をやっているのかが分かりやすくなると思います。</p>
企画課長	<p>確かに理念的すぎて、何をやっているのかが市民に伝わりにくい部分があるため、検討したいと思います。</p>
荒谷委員	<p>「市民・地域等の取組」について、小中学校での給食にも地域の皆さんが作ったものを取り入れられていると聞いていますので、「積極的に購入する」だけでなく、そういう取組を入れていくのはどうでしょうか。</p>
企画課長	<p>農業と教育に関わる施策もございますので、位置付けを</p>

	検討させていただきます。
伊藤部会長	それでは、続きまして資料32、33ページの施策4-4について審議いたします。まず、杉本委員からの意見を事務局から説明願います。
政策企画係長	こちらについて、御意見はありませんでした。
伊藤部会長	ありがとうございました。 それでは、各委員から御発言をお願いしたいと思います。
伊藤部会長	この施策では、下水道を取り扱っていますが、通常下水道機能とって、下水道整備以外に合併処理浄化槽や農村部だと農業集落排水事業などそういうものを含めて整備方法を整理することが多いのですが、下水道の整備だけの位置付けで問題ないのでしょうか。
企画課長	御指摘の点については、いわゆるし尿処理の方式としまして合併処理浄化槽や単独の浄化槽を使用する古いエリアも尾張旭市にはございます。44ページの環境施策の部分において、し尿処理に関しての記述が一部ございます。 市街化区域内におきましては、このような合併処理浄化槽で行っているし尿処理につきましても、公共下水道事業の方に切り替えをしていくことで、第六次総合計画の計画期間中には、まず市街化区域内において限りなく100%に近づけるよう下水道の整備を進めていく方向性であります。 この分野は、土地区画整理事業のようなまちづくりと密接な関係がありますので、これまで住宅都市として発展する中では、力をいれて取り組んできた部分でございます。 引き続き、この第六次総合計画の中では、環境整備と施設整備をしっかりとこの施策の中でやっていきたいという位置付けでございます。
鈴木委員	瀬戸市でもそうですが、古い住宅地の方では下水道整備が遅れていて、水洗ではないところもあります。 新しい住宅地については、公園もでき、下水道もでき、普通はそちらに住みたくなるかと思えます。 伊藤部会長がおっしゃった都市のコンパクト化というのは、古い地域は古いままで放置され、別のところに新しい住宅地を作っていくことにより、都市が広がってしまったということがあると思えます。もともと住んでいる住民の住環境の整備という点で、上下水道の整備に力を入れて取り組んでいっていただきたいと思えます。

企画課長	<p>市街化調整区域などでは、市街化区域が概ね100%に近づいた後に、下水道をどのように整備していくか、第六次総合計画の計画期間の後半には、一つの課題として取り組みはじめないといけないと、担当課も問題意識を持っているところでございます。</p> <p>市街化区域の中から実施していくというのは、税負担の公平性という部分もあり、そのような考え方になっていると思います。ここ10年の間には、市街化調整区域などにおいても何らかの整備の検討を進めていくことになると思います。</p>
伊藤部会長	<p>基本目標4の各施策について、御意見をいただきましたので、資料8の5ページ基本目標4の記載内容について、お気付きの点や御質問、御意見、御提案や賛同する点など御発言をいただきたいと思います。これについて、まず杉本委員から御意見があったかどうか、御説明をお願いします。</p>
政策企画係長	<p>こちらの基本目標につきましては、杉本委員からの御意見はありませんでした。</p>
伊藤部会長	<p>ありがとうございました。 それでは、各委員から御発言をお願いします。</p>
朝見委員	<p>施策4-3と関連するかもしれませんが、河川の利用で矢田川と天神川を散歩している人が多いイメージがありますが、道路によって分断されていて、横断歩道がないので安全安心に高齢者や子どもが自転車で渡れません。質の高い暮らしとして、ここを健康増進のためのモデルコース、散歩コースと考えたときに、市として安全に歩けるようにしてもらえると、利用が促進され、長くたくさん歩ける場所を散歩地区としたり、他にもつুক্তたり、色々な取組につながっていくと思います。部分的には良いですが、パッケージとすべきであると思いますので、反映していただければと思います。</p>
企画課長	<p>市としまして、まさに健康都市としている中では、川辺の散歩道と言いますか、矢田川散歩道や天神川といったところと、北側には山辺の散歩道もございしますが、まさに川辺というところが夏でも涼しいといえますか、水辺環境の中で、その部分は、若干、施策別指針でも記載が弱いのかななどの感じも受けました。</p>
朝見委員	<p>今、横断歩道で車が止まるようになってきているので、そういったところを一体となって計画してもらえると良いかと思います。</p>

伊藤部会長	<p>今、企画課長が言われた山辺の散歩道はありますが、山辺の散歩道、川辺の散歩道と言うのは、今後のまちづくりの非常に大きなポイントになるし、出せる部分かと思うので、きちっと書き込むと特色は出せるのではないのでしょうか。</p> <p>他は、いかがでしょうか。</p>
	(意見なし)
伊藤部会長	<p>今の川辺の散歩道、山辺の散歩道のキーワードは非常に重要で、基本構想に位置付けられると良いと思いますし、基本計画に書かれているカーボンニュートラルの2050年の目標、それからコンパクトシティは、これからずっと続いて必要とされるまちづくりの考え方になるので、カーボンニュートラルとかコンパクトシティ、せっかく基本計画の中に書いてあることなので、これは長期目標の中にも当然位置付けられるものですので、うまく基本目標4の記述の中に入れ込めると良いのではないかと思います。それらを理念に、いろいろな分野で取組を促すことができるのではないかと思いますので、一度検討してみてください。</p> <p>それでは、基本目標の4についての審議を終えたいと思います。</p>
	【休憩（5分間）】
伊藤部会長	<p>それでは、次に基本目標6について、事務局から主な部分の説明を受け、その後、皆様からお気付きの点などの御意見をいただく形で審議を進めていきます。それでは、まず事務局から説明をお願いします。</p>
政策企画係長	<p>(部会資料3) 施策別指針(素案)42ページから47ページまで、(資料8) 基本構想(素案)6ページ下段に基づき、基本目標6及びその施策について説明)</p>
伊藤部会長	<p>ただ今、説明のあった部分について、施策毎にお気付きの点や御意見、御質問を承りたいと思います。</p> <p>はじめに、資料の42、43ページの施策6-1について審議します。まず、杉本委員からの御意見を事務局から御説明をお願いします。</p>
政策企画係長	<p>施策6-1に関する杉本委員からの御意見としまして、「市が自ら省エネルギー化に積極的に取り組んでいる姿勢を市民に見せることが大切である。それにより市民の環境問題への意識が高まると感じる」との意見をいただいております。企画課としましては、市の取組は、積極的に周知するように担当課と調整したいと考えております。</p>

伊藤部会長	<p>ありがとうございました。それでは、各委員からの御発言をお願いします。</p> <p>皆様が考えている間に、このパートは自分自身の専門でもあるので、私の方からお尋ねします。</p> <p>まず、「現状と課題」の最初に、温室効果ガスの排出量を2030年までに46%削減、これは国が公約しているし、各自治体もこの46%削減をどのように達成するのかが、非常に重要になってくるかと思えます。今回の総合計画づくりは、バックキャストの視点で書いているので、この46%をどのように達成するのを書かれないと、バックキャストの総合計画としての持ち味が出にくいのではないかと思います。そうした観点で、市を挙げて地球温暖化対策に取り組む必要があるとの課題が示されていて、市を挙げてというのであれば、地球温暖化対策実行計画が事務事業編しか作成しておらず、これは市の率先行動になりますが、区域施策編は、従来は政令指定都市、中核市、特例市が対象であったのですが、ゼロカーボンシティを表明した自治体の多くは、この区域施策編を作成しており、この計画に基づいて様々な取組を進めていきます。調べてみると、愛知県下の市町村の3分の2は作成しています。区域施策編を作成して進めることくらいは書いておかないと、「主な取組」で46%削減できますかと聞かれた場合に無理な気もするので、その辺りも検討いただけると良いかと思えます。</p>
企画課長	<p>まさに、この地球温暖化対策実行計画が総合計画とも合わせながら、担当課でも検討しているところで、地域施策編が努力義務となっておりますが、令和6年度から始まる環境基本計画の中に内包すると担当課から聞いておりますので、それをしっかりと記載するよう検討します。</p>
伊藤部会長	<p>そこを位置付けておかないと、この「現状と課題」には対応ができないと思えますので、「主な取組」としては、省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用促進以外は、公共施設の省エネと環境教育、環境学習しかないもので、最初のところが、より総合的な取組となっていくのではないかと思いますので、検討をお願いします。</p>
鈴木委員	<p>「めざす姿」で、「市民や事業者が環境に配慮して」とありますが、行政はどうしていくのかが分かりません。行政が率先して見せていくことも必要ですし、市民や事業者のことだけ書いておくのは、片手落ちではないかと思いま</p>

	す。
企画課長	おっしゃるとおりだと思いますので、少し追加の記載を検討させていただきます。
朝見委員	42ページが一番下になりますが、クールビズだけでなく、ウォームビズもあるかと思えます。
伊藤部会長	市民・地域等の取組の2番目の「自動車に頼らず」とは、今後、水素や電気などのエコカーが促されていくと、当然どこかの時点でガソリン車は販売停止になるので、総合計画の期間を考えるとこの表現が良いのか。自動車が悪いわけでないので、もう少し工夫があっても良いかと思えます。
企画課長	省エネ性能がどんどん増していく中では、それに頼らないというだけでなく、そうした新たな技術を活用した自動車であれば、CO2を発生させないことになりますので、一度検討いたします。
伊藤部会長	それでは続きまして、資料44、45ページの施策6-2について審議をいたします。こちらについても、杉本委員からの御意見があれば説明をお願いします。
政策企画係長	こちらについて、御意見はありませんでした。
伊藤部会長	ありがとうございました。 それでは、各委員から御発言をお願いしたいと思います。
鈴木委員	現状と課題に「野生生物の市街地への出没」とありますが、これは具体的に何を想定しているのでしょうか。イノシシやカモシカが出没したことはあったかと思えますが、これは衛生と関係するのでしょうか。カラスとかであれば、生ごみを荒らしてしまい衛生的でないなどが考えられますが、野生生物の市街地への出没が衛生と関係するのかが分かりません。
政策企画係長	担当課に確認しますが、イノシシやアライグマだとかが入り込んでくることについては、環境施策として取り組んでいると思います。
鈴木委員	環境衛生対策ですので、生ごみなどは関係があるのでしょうか。
政策企画係長	こちらにつきましては、「主な取組」の一つ目にある「生活衛生環境の保全」になるかと思えますが、例えば、ヌートリアやイノシシなどが畑を荒らしたりするなど、生活面での影響を及ぼしているところが想定されているのではないかと思います。

鈴木委員	衛生ではなく、環境に関することでよろしいでしょう。
政策企画係長	環境に関することで良いかと思います。
鈴木委員	どのように環境を整備すれば、イノシシやヌートリアがいなくなるのでしょうか。自然豊かな場所に隣接しているから出没するイメージでいたので、市として環境整備していく必要があるのでしょうか。
政策企画係長	これにつきましては、原因は明確でないかと思いますが、例えば、名古屋市の吉根や志段味などで区画整理が進んでおりまして、その辺りで住めなくなってきた野生生物が尾張旭市の方に来ているのではないかなど、様々な原因があるかと思います。野生生物と市民が相對してしまうなど、危険が及ぶことがありますので、市の環境課では、イノシシやヌートリアなどの野生生物たちを捕獲するためのゲージなどをお貸しして、設置していただくなど、そのようなことが起こらないように配慮した事業を実施しておりまして、そのことがこの中に書かれている状況です。
朝見委員	行政では、ペットに関する苦情が多くて大変なイメージがありますが、子育て世代や高齢者など、好んで必要とされる世代もあります。そこを解決するようなことが入ると良いかと思います。犬は保健所が回収して野良犬はあまりいませんが、猫などは飼い猫かどうか分からないので、不妊手術の啓発や補助ができれば良いのではないのでしょうか。
企画課長	猫については、既に地域課題となっておりまして、市民団体でも地域猫に関する団体ができるなど、少しずつ地域の方に地域課題を対応していただいております。市の方でも不妊に対する助成ができないか、内部的な検討を進めていると聞いています。猫が路上で死んでいるとか、敷地内で死んでいるなどの情報が、年間200から300件ほど市に入ってきていると聞いております。担当課も猫の問題については、しっかりと取り組んでいきたいと聞いております。
朝見委員	飼っている方からすると家族であり、生活に必要なところですので、そこの支援との両立が難しいと思います。今までどおりのことが書いてあると思いました。
伊藤部会長	45ページの指標の6-2-3「修繕件数」と書かれると何のことか分からないので、何か位置付けるのであれば、分かりやすい表現に修正していただければと思います。

政策企画係長	修正いたします。
伊藤部会長	それでは続きまして、46、47ページ施策6-3について審議をしたいと思います。こちら杉本委員からの御意見があれば、事務局から説明をお願いします。
政策企画係長	杉本委員からは、施策6-3「資源循環型社会の推進」につきまして「一般家庭のほか、ごみの排出量が多い飲食店等の事業者でも、生ごみの削減や分別排出されると良い」との御意見をいただいております。 こちらにつきましては、事業者のごみの排出に関する事ですので、担当課と協議の上、検討させていただきたいと考えております。
伊藤部会長	それでは、各委員から御発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。
朝見委員	電子化による紙の削減は、施策6-3になりますでしょうか。小学校ですと、子どもが2人いると同じ内容の紙が2枚来たりしますし、行政の紙のロスは、すでに一般的に進めているし、技術としてあるからやるだけで達成できるものであると思います。デジタル技術による資源削減が、どこかに入っているのかと思います。
政策企画係長	ここには入っていない状況ですが、様々なところに影響する部分であるかと思しますので、どこに入れるべきなのか、この辺りを検討させていただきます。市役所だけのことであれば、基本目標8の施策8-2「行財政運営の推進」になりますので、この施策になる気もしますし、今の施策6-3「資源循環型社会の推進」にも入るところになるかと思しますので、一度検討させてください。
朝見委員	業務の効率化で基本目標8が記載しやすいと思いますが、もう一方の紙を減らすといった視点であれば、ここに記載すると各団体や市民にも周知しやすくなるのではないかと思います。
企画課長	「主な取組」の一つ目が、生ごみの部分に集中した書きぶりになっていて、紙ごみについても、一般廃棄物処理基本計画の中では、紙の資源化や紙の発生抑制といったところについても言及される部分かと思っております。紙がどの程度課題になっているかとの部分を含めて、確認して本当に燃えるごみの中や資源化において、紙の部分が目に見える部分として大きいのであれば、市民生活や事業活動として、象徴的なものと思しますので、総合計画の中で書くべきなのか検討したいと思います。

鈴木委員	<p>リサイクルセンターは、市役所に隣接した場所へ移転しましたが、それを機に資源のリユースの面が後退したと思いました。以前は、自転車を譲っていただいたり、自分の使えるものを持っていき使ってもらったり、子ども服を持って行ったついでに大きめの服をもらってくるなどしていたのですが、そこまでの機能が現施設ではないので、リユース面では、すごく後退したと感じています。その辺りは、維持していけないなどの何か理由があるのでしょうか。例えば、瀬戸市や長久手市でも同じように、リユース広場など公共のものがなくなっているのので、この辺りは維持していけない理由があるのでしょうか。</p>
企画課長	<p>直接な理由としましては、環境事業センターの移転に伴いまして工場ができた関係で、市役所に隣接する敷地の広さとしてリサイクルに特化した内容となっています。それから、リユースの部分については、民間事業者が様々なリユースを進めるなど、民がやる部分が増えてきていることも背景にあるのではないかと思います。ただし、今おっしゃったように、自転車などをリユースできるような施設のニーズはありますし、行政として引き続きやるべきではないか、そうしたことも内部的には話として引き続き残っていることは確かです。ただし、場所的な問題で今すぐに整備ということができないので、内部的には課題となっている状況です。</p>
政策企画係長	<p>ベビーカーとチャイルドシートについては、修理が必要ないものについては、希望される方にリユース品の提供として今も継続しているようでして、それ以外の服やおもちゃなどの提供がなくなっております。</p>
鈴木委員	<p>市がこれ以上取り組めない状況であれば、広報誌の中で、リユース会社をまとめて定期的に発信するなど、リユースにつながりやすいような取組を進めていただけると良いのではないかと思います。</p>
朝見委員	<p>市に転入してきたときに、ごみの分別教育などはあるのでしょうか。</p>
政策企画係長	<p>転入者には、分別に係る冊子をお渡ししております。</p>
朝見委員	<p>分別が下手で問題になっているとの議論ではなく、分別が上手になると、もっと再利用が進むのでしょうか。</p>
政策企画係長	<p>47ページの指標6-3-2「燃えるごみの中の資源ごみ混入率」とありますが、先日、現状値を確認したところ、今の段階で25%くらいリサイクルできる紙ごみが混</p>

	入していることがあるようですので、そのようなところは、改善していきたいと考えております。
朝見委員	転入してきた時に周知することが大切だと思いましたが、実際に私が転入してきた際にリサイクルセンターなどの紹介はなく、身内から聞いて初めて知ったと記憶しております。
企画課長	ごみの問題は、毎日の生活に直結しているのです、最初しっかりと市民に周知されているべきかと思えます。
朝見委員	市からではなく町内会から言われると、特に若い方はイラッとするかもしれません。
伊藤部会長	分別に関しては、他自治体もかなり工夫しています。例えば、スマートフォンのアプリで市の分別であるとか、場合によってはアラームが鳴るであるとか、いろいろな機能を付けたものを開発しているところもあります。アプリさえ起動すれば、大体のことは分かるし、サポートしてくれるような取組を進めているところもありますので、参考にするの良いのではないのでしょうか。環境事業センターのことで、リユースの体制を縮小しているのですが、以前は環境事業センター内に環境学習施設もありました。これもなくなっているのです、環境学習を進めることを書いておきながら、資源循環について環境学習が必要となってきますが、環境学習施設がなくなった代替措置があれば、位置付けられた方が良いのではないかと思います。一人当たりのごみ排出量を見てみると、県内でそれほど少ない方ではなく中位程度となり、直近で833kgと26位とのことです。日進市や長久手市では、もっと少ないので、まだまだ啓発を続けていく余地はあるかと思えます。リサイクルセンターに関しては、リユースと環境学習の機能を検討していただければと思います。
鈴木委員	<p>「主な取組」に関して、ごみの発生抑制も大切ですが、リサイクルとリユースのことが出てきていないことが気になります。</p> <p>発生抑制に書かれているごみのたい肥化ですが、市の食堂などではたい肥化に取り組んでいるのでしょうか。ごみの発生抑制に努めていただくことが書いてあるので、市役所の食堂がたい肥化していればそこから情報発信できると思います。給食センターなどではやっているかもしれませんが、子どもたちや市民に発信してもらえると、たい肥化しようとなるかと思えますので、実際に取り組んでいただ</p>

	き、それを発信していただくと良いかと思います。
政策企画係長	市役所の食堂や給食センターでのたい肥化については、一度確認してみたいと思います。
荒谷委員	長い目でみると、基本的に一人ひとりのモラルの問題だと思います。子どもたちへのごみ減量に対する教育をもっと積極的に実施されたら良いかと思います。
政策企画係長	先ほどの朝見委員から転入者への対応もございましたが、例えばポイ捨てをしないなども関わるかと思うので、子ども向けの教育を実施していないようでしたら、実施できないのか担当課にも話をさせていただきたいと思います。
伊藤部会長	ごみ減量もそうですし、省エネなどの地球温暖化もそうですが、私は20年程一宮市の環境審議会に関わってきて、市内の小中学校はすべてエコスクールとして、子どもたちが自主的に目標を設定して、環境に配慮した取組を実行して点検していくことを実施しています。環境配慮が非常に必要な時代となってきましたから、尾張旭市の小中学校でエコスクールを全面的に展開できるのであれば、それは子どもたちの環境意識につながるし、それが保護者や地域にも伝わっていきますので、何かやられているのであればと思います。
伊藤部会長	基本目標6の各施策について、御意見をいただきましたので、資料8の6ページ基本構想の基本目標6の記載内容について、お気付きの点や御意見、御質問があれば御発言をいただきたいと思います。こちらの点について、杉本委員から何か御意見はありましたでしょうか。
政策企画係長	こちらについて、御意見はありませんでした。
伊藤部会長	ありがとうございました。 それでは、各委員からの御発言をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。基本構想6ページ、基本目標6となります。
鈴木委員	「よりよい生活環境を将来世代に継承していく」とうたっていることは良いことですので、「主な取組」にも環境教育のことを入れておいた方が良いかと思います。
伊藤部会長	今の発言に、何かコメントはありますか。
企画課長	環境教育については、施策6-1の中には環境教育に関する「主な取組」が3つ目にございますが、資源循環型社会のごみに関する部分は明示されていないので、この辺りはどのように整合させていくか、担当課とも確認、検討し

	たいと思います。
朝見委員	<p>省エネは進めていきますが、評価する指標の収集は十分されてきているのでしょうか。</p> <p>見えていない電気の使用量などを集計することなども必要ではないでしょうか。</p>
企画課長	<p>いわゆる総合計画の指標が、粗目の指標の設定になっているということで、担当課と調整をして総合計画の指標についても少し検討したいと思います。また、環境基本計画の中では、個別の指標を設定すると聞いております。</p>
朝見委員	<p>今まで通りの指標を使うものもあれば、電力量や小学校など、投資して情報を集められるようにしなければならない指標も必要ではないかと思います。集計したものを1か月に1回取りまとめるなど、見えていないものを見えるようにすることも、長期計画では必要ではないでしょうか。</p>
企画課長	<p>いわゆる計測にコストを要するものを、ちゃんと計測することを計画の中に入れるとの理解でよろしかったでしょうか。</p>
朝見委員	<p>ちゃんと計測しないと、施策がうまくいったか評価できないのではないのでしょうか。現状を正しく計測することが、このような対策の基本かと思います。</p>
企画課長	<p>計測のことについては、まさに環境基本計画の策定が進んでいるところですので確認したいと思います。</p>
伊藤部会長	<p>ただ今の計測に関する御意見を含めて、指標は改めて御説明があるとの理解でよろしいでしょうか。</p>
企画課長	<p>指標については、基準値、目標値を補足していない、庁内的な議論がこれからというところがあります。関連する個別計画の策定も進んできている中におきまして、指標は総合計画ではたくさん定める必要はないと思っております。特に環境分野は、このままで良いかと思う指標が並んでいるところは確かでございます。</p>
伊藤部会長	<p>指標ですので、数が多ければ良いというわけではありませんので、ポイントを押さえた代表指標というようなものが、うまく位置付けられると良いかと思います。今は、全て数字が出ていないので、今後、どこかで出てくるとの理解でよろしかったでしょうか。</p>
企画課長	<p>基準値の辺りは、総合計画審議会の開催期間中に補足できるものと、補足できないものがあると思っております。</p>
伊藤部会長	<p>補足できるものは出していかないと、総合計画に位置付けられているので、位置付けられたものは審議対象になり</p>

	<p>ます。補足できるものは見せていき、補足できないものについては検討中ですとか、個別計画に委ねるでも良いのですが、数字がないとなかなか審議としてのまとまりがないのかと思いますので、その辺りも御検討いただければと思います。</p>
鈴木委員	<p>小中学校は、冷暖房の設置を進めているため、確実にCO<sub>2</sub>は増えていくと思いますが、小中学校の屋上にもっと太陽光発電を設置すれば、CO<sub>2</sub>の排出量を抑制し、マイナス方向に持っていけるのではないかと考えています。東日本大震災の後に、太陽光発電に補助が出た時に、尾張旭市も、もっと公共施設の屋根に太陽光発電を設置してしまえば、電気代も入ってくるし、CO<sub>2</sub>の削減にもつながるし良いのではないかと考えていたのですが、あまり活用されていないのは何か利用があるのでしょうか。設置しても本当の意味での環境保護につながらないなどの考え方があるのでしょうか。</p>
企画課長	<p>今の御質問については、事務局として明確な回答がございませんので、教育部局に確認したいと思います。</p> <p>エアコンの整備については、国庫補助の対象となり整備を推進しておりますので、おそらくその時に検討しているかと思います。</p>
鈴木委員	<p>体育館などの施設にも冷暖房を設置する動きがあるため、確実にCO<sub>2</sub>排出量は増えるかと思います。せめて屋根の上くらいは活用して削減するような、マイナスにできる要素を作っていくと良いのではないかと思います。</p>
伊藤部会長	<p>地球温暖化対策実行計画で、市民に太陽光や再生可能エネルギーの普及を求めるのであれば、まずは公共施設からの面もありますので、その辺りは確認をお願いします。</p>
鈴木委員	<p>「主な取組」や「市民・地域等の取組」の中に、その辺りのことが書かれていなかったため、そちらには熱心ではないのかとの印象です。太陽光発電は環境面で役に立たないなどの考え方の人たちもいるかと思いますし、難しい問題ではありますが、その辺りがあまりうたわれていないので、尾張旭市はその辺りに対して否定的な考え方かと思ってしまいました。</p>
企画課長	<p>建物の構造的なところがあるかもしれませんし、少し確認してお答えしたいと思います。</p>
朝見委員	<p>遮熱フィルムなどを貼って、少し冷房費を抑えるようなものがありますが、あまりやられていないのでしょうか。</p>

	日光が入らないようにするフィルムと断熱フィルムといった暖房の効率を上げるもので、貼るだけで5℃くらい抑制できるフィルムもあるため、エネルギー使用量も減るかと思えます。
鈴木委員	「主な取組」のところに、常に最新の省エネ技術を取り入れていくような内容を入れておいた方が良いのではないのでしょうか。
政策企画係長	今、鈴木委員がおっしゃったのは、42ページ主な取組の2つ目「公共施設の省エネルギー化の促進」の辺りでしょうか。ありがとうございます。
伊藤部会長	今の発言を踏まえて、各家庭の省エネにとって断熱窓や断熱材などは一番重要と言われており、それは学校施設も同じことですので、うまく取り入れて省エネを図っていくことが大事かと思えます。
朝見委員	小学校で、冬に3分の2程度の子どもたちがダウンジャケットを着て授業を受けている姿を見て、びっくりした記憶があります。
政策企画係長	新型コロナウイルス感染症対策として、窓を開けているところもあったのかと思えます。
伊藤部会長	<p>それでは、次に次第の2-(3)、「めざすまちの未来像」「まちづくりの基本方針」、以前の全体会議で説明のあったところになりますが、その調査審議に移りたいと思えます。</p> <p>こちらについては、6月に開催した全体会で企画課からの説明を受け、その後、議論を進めていたところですが、より細かな施策を御検討と御議論をしていただく中で、お気付きの点などもあるかと思えますので、再度御意見をいただきたいと思えます。</p> <p>具体的には、資料8基本構想の2ページ、3ページ目の「めざすまちの未来像」と「まちづくりの基本方針」を見て、御意見、御提案等、御発言いただきたいと思えます。まず、杉本委員からの御意見があるか確認したいと思えますがいかがですか。</p>
政策企画係長	<p>こちらにつきましては、杉本委員から「これまで大切にしてきた「緑」を大切にしてほしい」「幸せつむぐと笑顔あふれるが少し似た言葉ではないかと思うと、他の尾張旭らしい言葉を入れても良いのではないか」と「めざすまちの未来像」について御意見をいただいたところです。</p> <p>企画課といたしましては、最初の会でお話しさせていた</p>

	<p>だいたかと思いますが、「緑などの本市らしいフレーズを、幸せつむぐと笑顔あふれるに込めており、市民の皆様の「人」にフォーカスした言葉を作っていきたい」こともお答えさせていただくとともに、そのような考えを持っております。</p>
伊藤部会長	<p>ありがとうございました。それでは、こちらについて各委員から発言をお願いします。</p> <p>尾張旭らしさは、いろいろな御意見が出たところですが、何かございますか。</p>
鈴木委員	<p>緑が急になくなったところは、引っかかるころではあったのですが、事務局の説明を聞いて、敢えて緑を入れないで「人」にフォーカスしていきたいとの強い思いがあるのであれば、それを説明していただいても良いのではないかと思います。</p>
伊藤部会長	<p>尾張旭市らしさだけでなく結構ですので、改めて御覧になっていただいて、御意見等があれば御発言をお願いします。</p>
朝見委員	<p>施策の方に入ると、少し基本構想が薄れてしまう印象を前から持っていました。基本構想を持って施策を読むことは難しいのではないかと感想です。</p>
企画課長	<p>「めざすまちの未来像」と「まちづくりの基本方針」は、かなり議論をして市民の皆様の希望的な意見が入っている部分かと思うところです。施策の方は、各担当課が必要であるとして作ってきている部分であるため、ここを統合させるような仕組みが必要かと思えます。</p> <p>「めざす姿」に若干そうしたことが入っていくべきであることが一つの解決策であるとともに、実はこの部会の審議が終わった後に、全体会で「まちづくりの基本方針」3ページの部分を具体化する取組を抽出したものを皆様方にお見せをして、こういったところに重点的に取り組んでいきますというようなことを、今回の第六次総合計画では新しい仕組みとして取り入れたいと考えています。今まさに内部でも、少し検討を進めております。同時並行で内部の審議と、審議会での審議を進めておりますので、今後部会長及び委員の皆様にもそうした情報もお伝えしながら、お示しできるのが第3回の部会以降の全体会等にもなってくるかと思いますが、まさに尾張旭市らしさですとか、基本構想の最初の2ページの部分と、この施策別のところを統合するようなことが工夫できないかということを事務局で</p>

	考えております。
朝見委員	「めざす姿」と「現状と課題」もこの基本方針をベースに考えると変わるかもしれません。
伊藤部会長	鈴木委員の「楽しさ」に関する御意見がありました。まさにこの4つの基本方針のコンセプトがうまく浸透していくところになるかと思えますから、このような観点でいろいろな施策を考えたり、組み立てたりした結果が施策別計画となりますので、マトリックス表などで確認しながら内部整理していただきたいと思えます。
鈴木委員	「暮らしやすさ」には、ある程度の自信があつて、ここに「楽しさ」を加えることが、今回打ち出していくキーワードになってくるかと思えます。一番大事なところが、(1)に記載されていると思えますし、(2)で「自分らしく」それぞれ幸せになってくださいというところがあつて、(3)でその中での「子育て」を重視していきます。(2)と(3)をつなげるものとして(4)の「人とのつながり」を大切にすることになっているのかなと思つて読んでいました。
企画課長	いただいた意見を参考に、(1)から(4)のストーリーをもう少しブラッシュアップして説明できるようにしていきたいと考えております。
伊藤部会長	(1)で「楽しさ」を加えるのだから、「楽しさ」という部分が今回の総合計画の新規施策となりますので、関わりがあることも大事だし、「自分らしく」も市民や地域の取組は市から求めていることが多いですが、「自分らしく」とするのであれば、市民が動くことを市が応援するとのスタンスの記述も本来あった方が良くと思います。コンセプトに沿った整理をお願いできればと思います。 その部分で、随分整理の仕方も変わるのではないかと思います。
伊藤部会長	それではこれで、第2部会としての担当でありました基本目標3、4、6の調査審議、また基本構想の中の「めざすまちの未来像」と「まちづくりの基本方針」の調査審議が終わりました。 皆様、随分活発に御意見をいただきましたが、御意見の漏れ等はありませんでしょうか。 また、会議等の調査範囲以外でも、事務局へお伝えする事項があればお伺いしますがいかがでしょうか。
	(意見なし)
伊藤部会長	それでは御意見も出尽くしたようですので、本日は少し

	<p>時間を延長しますが、この程度で留め、御意見等は事務局の方で取りまとめていただくことにしたいと思います。</p> <p>続きまして、次第の3「その他」に移りたいと思います。事務局から御説明をお願いします。</p>
企画課長	<p>それでは、次第の3「その他」としまして、3項目の事務的な御連絡をさせていただきます。まず(1)でございますが、第1回部会の会議録案を、本日お手元にお配りをさせていただきますました。この会議録は、皆様に御確認いただいた後に、市のホームページで公表してまいりたいと考えております。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、内容を御確認いただきまして、もし修正が必要な箇所がございましたら、8月15日までに企画課まで御連絡を頂戴したいと思います。</p> <p>次に(2)部会意見の取りまとめの方法でございますが、第1回と第2回の部会での調査審議でいただきました御意見につきましては、今後、基本目標ごとに取りまとめさせていただきます、部会長とも調整させていただきたいと考えております。部会長と調整させていただいた後、次回第3回の部会では、皆様からいただいた御意見の取りまとめ内容を、皆様に改めて御確認をいただきたいと考えております。第3回での部会で御確認いただいた後、9月22日には再度全体会がございますので、この全体会の場では部会長様から当部会以外の委員もいらっしゃいますので、皆様方に当部会で御議論いただいた内容を共有するといった進め方を予定しておりますので、御承知おきください。</p> <p>最後(3)の次回開催日の確認でございますが、次回の部会は、8月25日の金曜日、午前10時から市役所3階の303会議室、一番奥の会議室でございますが、こちらで開催したいと思いますので、大変お忙しい中恐縮ですが、皆様御出席の程よろしく願いいたします。</p>
伊藤部会長	<p>どうもありがとうございました。ただ今の説明に対して委員の皆様から御質問等はございますか。</p> <p>御意見は内容ですので、その他、委員の皆様や事務局から何かございますか。</p>
企画課長	<p>本日9時半から大変長時間にわたり御審議いただきまして、誠にありがとうございました。暑い日が続きますので、どうぞ御自愛ください。次回以降もどうぞよろしく願いいたします。</p>
伊藤部会長	<p>以上を持ちまして、第2回の部会を終了したいと思います。</p>

	す。御協力ありがとうございました。また次回も引き続き、どうぞよろしく願いいたします。
--	--